

# 栃腎友だより

令和8年4月（第234）号

## ●国会請願の報告

令和7年度の全国腎臓病協議会が主催する国会請願の会議を、3月19日（木）に参議院議員会館講堂において、全腎協役員及び全国各都道府県腎友会代表者約200名で開催しました。会議の後、藤沼恭一副会長と松下泰幸常務理事が栃木県選出の衆議院議員・船田元先生と参議院議員・上野みちこ先生を訪ねて、衆参議員会館に足を運びました。

当日は令和8年度国家予算の審議が行われており、両先生は国会に出席中であつたため、議員会館で船田元先生の秘書様と上野みちこ先生の秘書様に、会員の皆様から託された署名を受け取っていただき、透析患者が「将来も安心して治療が続けられる社会」の実現に関する要望を申し入れました。

将来も安心して  
治療が続けられる社会を



腎疾患患者がこれからも安心して治療が続けられるよう、医療体制や介護・通院支援などの充実を求めています。多くの皆さんの理解と協力が必要です。

全腎協第55次「国民を腎疾患から守る総合対策」の早期確立を要望する  
**国会請願署名にご協力ください。**

一般社団法人 全国腎臓病協議会 栃木県腎臓病患者友の会



国会請願署名の手渡し  
左から松下常務、藤沼副会長、船田元秘書様



藤沼副会長から上野みちこ秘書様に国会請願署名の手渡し

## ●栃木県慢性腎不全治療の概要について (令和6年12月31日現在)

栃木県臓器移植推進協会が県内の透析動向について報告した一部を抜粋し掲載します。

①県内の透析患者総数 6,338人 (前年度：6,717人、対前年比379人減)

男性4,419人、女性1,919人、平均年齢69.51歳、最高齢101歳

②年間透析導入者数 717人 (前年度：748人、対前年比31人減)

原疾患別導入者 (糖尿病性腎症39.2%、腎硬化症26.5%、慢性腎炎15.4%)

③年間死亡患者数 808人 (前年度：774人、対前年比34人増)

死亡原因別割合 (感染症20.3%、心不全19.1%、腎不全・尿毒症9.8%)

④年間腎移植者数41人 (対前年比7人増) 【生体腎移植37人、献腎移植4人】

## ●事務局からのお知らせ

### ○総会開催のお知らせ

令和8年度栃木県腎友会総会を、6月28日(日)午前10時から、宇都宮市文化会館第一会議室で開催します。当日は総会に加えて自治医科大学腎臓内科学教授の森下義幸先生の御講演を予定しております。会員・賛助会員及びそのご家族・知人におかれましても参加できますのでお申込みください。



森下義幸先生

### ○ 毎週土曜日午後1～5時に「電話・メール相談室(無料)」を開設しています

連絡先TEL：028(680)6713 mail：[tochijinyu1123@cap.ocn.ne.jp](mailto:tochijinyu1123@cap.ocn.ne.jp)

受付時間 毎週土曜日 午後1時半～5時 (会長が電話対応します)

相談医 医療法人開生会 奥田クリニック院長 奥田 康輔 先生

○本誌発行には共同募金会のご協力をいただいております。

発行者	栃木県腎臓病患者友の会(栃木県腎友会)	長山 八洲稔
編集者	栃木県腎友会事務局	山本 裕子
医事指導	安藤 康宏、奥田 康輔	
事務局	宇都宮市御幸ヶ原町84-20 レジデンス御幸ヶ原103	
	電話 028(680)6713	FAX 028(680)6714